

まほら

まほらとは ~丘や山に囲まれたすぐれたよい所~
古事記「中巻」より

第12号 平成21年 4月発行

自然に学び、地域に生かす



出雲土建株式会社

建設事業部 緑化事業課

TEL 0853-22-0388

FAX 0853-22-0377

Email: izd-ryokuka@i-doken.co.jp

隠岐の島町「八百杉」の樹勢回復事業がスタート!

隠岐の島町の玉若酢命神社にある、国指定天然記念物（島根県第1号）の「八百杉（やおすぎ）」の樹勢診断、調査を平成18年9月より行ってきました。また、平成20年度から3年計画で炭八（リサイクル木炭）による土壌改良を主体に樹勢を回復させる事業が開始されました。



~玉若酢命神社の八百杉~

- ・ 所在地 島根県隠岐の島町下西宮前
- ・ 区分 国指定の天然記念物（単木類）
- ・ 指定日 昭和4年12月17日指定（島根県内第1号）
- ・ 樹木データ 推定樹齢 1000年 樹高 30m
根元周囲 20m 幹周 9.9m 県下随一の巨木です。
- ・ 由来・伝説

むかし数百年生きながらえたと伝えられる八百比丘尼が、若狭より隠岐に渡り、神社に参拝した記念に植えられたとされる杉で、その時に「800年後にまたこの地を訪れるだろう。」と言ったとされることから、「八百杉」と名づけられた。また、この杉の根元に大蛇が生息していたが、大蛇が寝たまま根に抱かれてしまい、今でも周囲が静かなときには、大蛇のいびきの音が聞こえてくるといふ。

玉若酢命神社「八百杉」樹勢回復事業 第1期

調査・診断 平成20年10月



日本樹木医会島根県支部の樹木医4名（柿田、佐藤、太田、楨野）に、元島根県林業試験場の平佐隆文氏が加わり治療前に、周辺の環境、土壌の状態、幹の腐朽の広がり、葉の密度など、多くの調査が行われました。結果、衰弱した多くの原因は、盛土や踏圧などの人為的なものが考えられ、土壌の酸度もpHも4.4と、かなりの酸性でした。結果を基に、炭八（リサイクル木炭）の効果を発揮し樹勢回復できる事が判り、文化庁の承諾を得て樹勢回復の事業が始まりました。

炭八（木炭）は高温で炭化した炭でpH9の強アルカリです。

腐朽部治療 平成21年1月



樹幹上部は27mの高所作業車で作業。

炭八改良 平成21年2月



使った炭八（木炭）は4000リットル！！



表面に根を発根させる為に炭八（木炭）、堆肥を敷き均し。



ハイプレッシャー（高圧洗浄機）で腐朽部を除去、木固め剤、カク、人工樹皮で治療。



周囲にオガ-（孔掘機）で無数の孔を掘り炭八(木炭)と堆肥を充填。



周囲にロープ柵をして第1期事業完了。

県立大東高校「イチイの木」樹勢回復事業！ 平成21年3月施工



県立大東高校は今年創立90周年を迎え、今の新校舎になってから30年が経過します。このイチイの木は校舎移転の際に移植された記念樹で、学校のシンボルとなっていますが近年衰弱がひどく、炭八（リサイクル木炭）による樹勢を回復させる事業を行いました。

イチイ（一位）
イチイ科
別名 オンコ、アララギ
亜高山帯、寒冷地に生育
名の由来/昔、材から高官が用いる笏（しゃく）を作ったので、朝



イチイの実（10月）
甘くておいしい
種は有毒

腐朽部治療



泥炭と炭八（木炭）を腐朽した箇所に入れ発根誘導。

炭八改良



周囲に無数の孔を掘る。



機械により根に酸素を送る。



発根するまで乾かないように保護。



炭八（木炭）と堆肥を充填。



表土に炭八（木炭）と堆肥を敷き混合。

新築庭紹介！

出雲市今市町 T様邸 平成21年4月完成



以前からあった中庭を改造。テーマは「水と光 木漏れ日の空間」とても癒される空間になりました！

出雲市外園町 I様邸 平成21年4月完成



新築に伴い築庭。元々の地形を生かした枯山水様式の庭。植栽は施主の好きな果樹や花木を植えてとても楽しめる庭になりました！

第8回 浜山松苗植樹祭 平成21年3月8日開催！

毎年恒例となった、井上恵助翁奉賛会（出雲市浜町）主催による浜山松苗植樹祭も今年で第8回目になりました。今回から協賛に島根県が加わり、県立緑化センターから松くい虫の抵抗性マツの苗700本が提供され、地元や関連団体の約300の方が浜山公園に松苗を植樹されました。また植樹に先立ち、大阪工業大学客員教授の小川眞先生と、樹木医の佐藤仁志氏の記念講演会が行われました。



記念講演 佐藤樹木医
「抵抗性マツと松林の復活について」



当日の植樹に参加された皆さん300人。当日は最高の天気となり、マツの成長を願いながら親子で気持ちの良い汗をかきました。

2009年(平成21年)3月9日(月曜日) 山陰中央新報

松くい虫被害深刻 浜山公園(出雲)

抵抗性松初の植樹



住民ら県開発の苗1500本

松くい虫被害で毎年、千本前後の被害が出る出雲市の県立浜山公園で8日、植樹祭が催された。同公園では初めて松くい虫に抵抗性のマツ千五百本が、緑の復興が後世に伝わるよう願う住民の手で植えられた。

浜山公園の景観を守るため、松くい虫の抵抗性が高いクロマツを植える地域住民たち
植樹されたのは、県が開発して、昨年から出回り始めた「くにびき松」の二、四年生の苗木。植樹祭に参加した三百人によって、生育地帯を整えるため敷かれた木皮とともに、植え付けられていった。
二万本の松が林立する浜山公園では、松くい虫被害が深刻化。立ち枯れや倒木が目立つようになったため、二、四十年前に浜山公園周辺で松の植林を進めた井上恵助翁を顕彰する地元の奉賛会が実行委員会をつくって、活動を展開している。